

# インマルサットによる海洋観測通報の手順

2010年8月

気象庁海洋気象情報室

## はじめに

この説明書は、国際気象通報式に従いコーディングされた電文を、インマルサットを使用して気象庁に送信する方法を説明するものです。国際気象通報式（BATHY、TESAC、TRACKOB）による電文の作成方法については、「BATHY 報、TESAC 報、及び TRACKOB 報の作成方法」を参照してください。また、気圧、風、気温等の気象観測と通報については船舶気象観測・通報のウェブページ（<http://marine.kishou.go.jp>）をご覧ください。

国際気象通報式による海洋観測データは、船舶気象観測通報と同様にスペシャルアクセスコード「41」により、インマルサットを利用して通信料無料（気象庁の負担）で、海洋観測データを気象庁あてに通報できます。インマルサットCにより、太平洋衛星を利用した山口陸上地球局（地球局番号203）経由、もしくはインド洋衛星を利用した山口陸上地球局（地球局番号303）経由で気象庁あてに通報してください。太平洋衛星経由のインマルサットBも利用可能ですが、通信費の安価なインマルサットCをできるだけ利用してください。

表：利用可能なインマルサットの種類と経由衛星、地球局

	衛星	地球局
インマルサットC	太平洋衛星（POR）	山口陸上地球局（203）
インマルサットC	インド洋衛星（IOR）	〃（303）
インマルサットB	太平洋衛星（POR）	〃（003）

## インマルサットCによる送信方法

インマルサットCでは、送信するデータ（電報本文）とともに、事前に設定した送信先等の情報を一括して送信します。そのために、送信先、送信データの種類、送達確認の有無などについて事前に登録しておく必要があります。登録の手順は通信端末によって異なるので、詳しくは個々の通信端末の取り扱い説明書に従ってください。以下に、気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」に設置されている送信端末の操作手順を、例として示します。

### 1. 送信先等の事前登録

メインメニューから **SEND MSG** を選択し、操作者のID番号、パスワード等の入力後、DESTINATION 画面から送信先、送信データの種類、送達確認の有無等、下表の項目について事前登録を行っておきます。

	項目	設定値	説明
1	DESTINATION		送信先を識別するための名前（任意の名前）

2	CES	203	インマルサット C での太平洋衛星経由の山口陸上地球局の番号。インド洋衛星経由、及びインマルサット B の場合の番号とは異なることに注意。
3	NETWORK	SPECIAL ACCESS CODE	陸上の回線網の指定。気象通報を示すサービスコード「41」を 4 項で指定するためにこれを指定する。ここで TELEX と指定すると「41」は入力できないので注意。
4	ADDRESS	PREFIX	送信先の指定として「41」を入力する。
5	CODE	TEXT	送信データの種別（テキスト形式のファイル）
6	PRIORITY	NORMAL	優先度。DISTRESS とすると遭難信号になるので注意。
7	CONFIRMATION	NO	送達確認の有無。必ず送達確認は不要とする。

## 2. 電文の作成・保存

フロッピーディスク等に、国際気象通報式によるテキスト形式の電文をあらかじめ作成・保存しておきます。電文の作成方法については、別の資料「BATHY 報、TESAC 報、及び TRACKOB 報の作成方法」を参照してください。ひとつの電文は、冒頭符号（JJVV、KKYY、または NNXX）で始まり、「コールサイン=（JGQH=など）」で終了します。複数の電文を連続して一度に送信することが可能です。この場合、個々の電文すべてに冒頭符号と「コールサイン=」が必要です。

以下に電文例（2 通の BATHY 報を一度に送信する場合）を示します。

```
JJVV 17020 1850/ 134879 137000 88888 22233 04200 30199 75180 99901 00179 99902
20168 90130 99904 00090 60082 99907 60048 JGQH=
JJVV 17020 2249/ 133281 136841 88888 22233 04197 34198 99901 12177 99902 04168
99903 22119 44114 99904 60078 99907 60042 66666 21132 JGQH=
```

## 3. 送信先の指定

メインメニュー画面から **SEND MSG** を選択し、DESTINATION 画面で 1 で事前登録した「送信先を識別するための名前」を指定します。

## 4. 電文ファイルの選択

**UPLOAD** の指定により、2 で保存した電報本文のファイルを選択します。

## 5. 送信

**SEND** を指定し、送信を行います。

## インマルサット B による送信方法

1. 国際気象通報式によるテキスト形式の電文をあらかじめ作成しておきます。電文の作成方法については、別の資料「BATHY 報、TESAC 報、及び TRACKOB 報の作成方法」を参照してください。ひとつの電文は、冒頭符号（JJVV、KKYY、または NNXX）で始まり、「コールサイン=（JGQH=など）」で終了します。複数の電文を連続して一度に送信することが可能です。この場合、個々の電文すべてに冒頭符号と「コールサイン=」が必要です。以下に電文例（2 通の BATHY 報を一度に送信する場合）を示します。

```
JJVV 17020 1850/ 134879 137000 88888 22233 04200 30199 75180 99901 00179 99902  
20168 90130 99904 00090 60082 99907 60048 JGQH=  
JJVV 17020 2249/ 133281 136841 88888 22233 04197 34198 99901 12177 99902 04168  
99903 22119 44114 99904 60078 99907 60042 66666 21132 JGQH=
```

2. 陸上地球局を呼び出します。

3. 「GA+」が送られてきたら、「41+」を送信します。

4. 気象機関からのアンサーバック（日本の気象庁の場合は「METTOK J」）が送られてきたら、本文を送信します。

-----

\* インマルサット A は平成 19 年（2007 年）末を期限にサービスを終了しました。